

## 謝辞

本研究は建築物の避難安全設計の健全な発展のためにリスクの概念を導入する必要性があることを痛感して2010年頃から始めたものであり、それから既に10年以上の時間が経過した。その間多くの研究者による協力を得て、貴重な成果の提供を受けることができた。諸般の事情があつて研究を纏める作業の進捗は円滑では無かったが、特に下記の方々については、その協力無くしては本報告の形に纏めることは困難であつたと感じている。

ここに記して衷心からの謝意を表したい。

池島由華           大成建設技術センター

抱 憲誓           鹿島建設技術研究所

角谷三夫           関西建築防災研究所

野竹宏彰           清水建設技術研究所

山口純一           大林組技術研究所

(敬称略)